

## BOOK REVIEW

### 脳卒中をやっつけろ！

孫子の兵法に「彼を知り，己を知れば，百戦して殆からず」とあります。戦う際に，敵のことも味方のことも熟知していれば負ける心配はないという名言です。多くの作戦本で引用されていますのでご存知の方は多いと思います。この吉村先生の著書『脳卒中をやっつけろ！』はまさしくこの名言に従って書かれたものです。

私を含めて医療者の皆さんは，患者さんやご家族から医療に関していろいろと質問を受けることがあります。自分の専門分野ならまだしも，日進月歩の医療の世界では生半可な知識では説明できないことも多いのではないのでしょうか。人に物事をわかりやすく説明するということは本当に理解していないとできません。中途半端だと質問に答えきれなくなり，ついつい専門用語で煙に巻いてしまう光景も目にします。

おそらく本書は一般の方々に向けてわかりやすく書かれたものと思いますが，私は医療のことをある程度知っている，そんな医療職の方々にこそ有益な一冊であると感じました。スラスラと読めますし，フムフムと納得しやすい内容です。しかも，外科治療を押し付けられるという感じも受けません。なぜなら，吉村先生ご自身が「もしも患者の立場で治療を受けるとしたらこうしたい」という正直なコンセプトで書かれているからだと思います。

脳卒中に対してはチーム医療が求められます。いろいろな場面でかかわるであろう，医師，看護師，リハ専門職，薬剤師，放射線技師，医療ソーシャルワーカーなど多くのメンバーが共通認識を持って敵と戦うことが重要です。本書がその知識共有の指南書となればと思います。



● 吉村紳一＝著

(四六 / 200 頁 / 1,800 円 + 税 / 三輪書店 / 2018 年)

評者

豊田章宏

独) 労働者健康安全機構  
中国労災病院  
治療就労両立支援センター 所長  
リハビリテーション科 部長，医師